2013国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2013

会　期　2013年 11月6日(水)～9日(土) 10:00～17:00　20th ANNIVERSARY

会　場　東京ビッグサイト　東1・2・3ホール

主　催　一般社団法人 日本ロボット工業会　日刊工業新聞社

後　援　経済産業省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省、日本商工会議所、日本貿易振興機構(JETRO)、日本放送協会(NHK)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

入場料　一般:1,000円、学生・団体(15名以上):500円　※事前登録者および招待券持参者は無料　※中学生以下は無料

来場事前登録・併催事業の参加申込みはこちら!!　国際ロボット展　検索

□出展者一覧　国内外のロボットメーカー・関連企業・団体が一堂に集結!

※は共同出展
2013年 10月15日 現在

■ 産業用ロボットゾーン（IR）

アイエイアイ
愛知産業
アサ電子工業
アステック
アンフェノールジャパン
イースタン
イグス
インテック
SK マシナリー
SUS
ATI Industrial Automation
ABB
エプソン販売
　※セイコーエプソン
エムリンク
岡野電線
沖電線
ORiN 協議会
川崎重工業
川田工業
　※カワダロボティクス
北川鉄工所
キャプテンインダストリーズ
京町産業車輌
KUKA ロボティクスジャパン
グリーネプランニング
クリエイティブテクノロジー
クロイツ
群馬県産業支援機構
　※アドテックス
　※ウエノテクニカ
　※タカノ
KEBA Japan
光進電気工業
国際ロボット連盟
コスメック
コスモスウェブ
小森安全機研究所
　※SATECH SAFETY TECHNOLOGY SPA
近藤製作所
サーボロボ
　※サーボロボ・ジャパン
サワ
　※甲府精鋲
サンキ
三桂製作所
三松
　※ソリッドワークス・ジャパン
三明機工
CKD
ジェービーエム
静岡県／静岡県産業振興財団
　※コマックス
　※親和製作所
　※玉川ダイカスト
　※ヤナギハラメカックス
シュマルツ
シュンク・ジャパン
新光電子
スター精機 Eins 事業部
スターテクノ
星和電機
泉州電業
　※倉茂電工
　※太陽ケーブルテック
ソフトロニクス
大電
ダイドー
ダイナックス
ダイヘン
TAIYO
高千穂産機
タツダ
　※VMECA
多摩川精機
中国ロボット産業連盟
ツカサ電工
THK
THKインテックス
テクノハンズ
デンソーウェーブ
東芝機械
ナブテスコ
ナレッジ
　※MUJIN
ニコン
日刊工業広告社
日刊工業新聞社 電子メディア事業室
日刊工業新聞社 販売局
日刊工業新聞社 / 中小機構
ニッセイ
日本トムソン
ニプロン
日本食品機械工業会
日本電産シンポ
日本電線工業
日本バイナリー
日本包装機械工業会
日本マルコ
日本ロボット工業会
ハーティング
ハーモニック・ドライブ・システムズ
ハイウィン
ピー・エル・オートテック
平田機工
ファナック
フエスト
不二越
プロテックシステム .Lab
ヘラマンタイトン
マクシス・シントー
三木プーリ
三菱電機
　※三菱電機システムサービス
　※パイナス
　※サンテック
　※アステック
　※ターゲット・エンジニアリング
　※ジャパンユニックス
　※コグネックス
　※イシダ
　※MUJIN
妙徳
MUJIN
メッセ・ミュンヘン・ジャパン
メトロール
モリタアンドカンパニー
安川電機
ヤマハ発動機 IM 事業部
ユーシン精機
吉野川電線
Reed ISG Japan
レニショー
ワコーテック

■ ロボットシミュレーション&ビジョンシステムゾーン(IRV)

アーテック
英和
SPIエンジニアリング
三次元メディア
シーイーシー
　※MUJIN
スペイシャル
セニット・ジャパン
ゼネテック
プロトラブズ
丸紅情報システムズ
リンクス

■ サービスロボットゾーン（SR）

IROSパビリオン
　※Barrett Technology
　※Clearpath Robotics
　※Coppelia Robotics
　※Cyberbotics
　※DJI Innovations
　※Engineered Arts
　※EUROSURGE Project
　※F&P Personal Robotics
　※Force Dimension
　※GCtronic
　※IHI
　※iniLabs
　※Kinova
　※NCCR Robotics
　※Pho Imaging
　※Robotiq
　※Shadow Robot
　※SimLab
　※Springer
　※SynTouch
　※日本バイナリー
　※ハイボット
　※北陽電機
アールティ
アサヒビール
　※旭光電機
Aldebaran Robotics
宇宙エレベーター協会
SRI インターナショナル
NOK
大阪市都市型産業振興センター／次世代ロボット開発ネットワーク RooBO
　※ヴイストン
　※東洋理機工業
　※ピップ
　※双葉電子工業
　※マッスル
　※レイトロン
オーム社
各務原市
　※岐阜県情報技術研究所
　※ブイ・アール・テクノセンター
神奈川県
　※アサンテ
　※ASTUMO
　※イクシスリサーチ
　※エクストコム
　※小川優機製作所
　※神奈川県企業誘致促進協議会
　※神奈川大学
　※かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会
　※かわさきロボット競技大会
　※川本重工
　※ジェイ・エム・シー
　※静科／流機エンジニアリング
　※シンコーセンサー
　※杉浦機械設計事務所
　※スリーハイ／相互電機／第一フォーム
　※ゼオシステム
　※テクノロード
　※ニイガタ
　※日本精工
　※LINFOPS
韓国工作機械工業協会（KOMMA）
韓国パビリオン
　※Senes Technology
　※ROROTIS
擬人機工藝
北九州ロボットフォーラム／北九州産業学術推進機構
木村洋行
経済産業省
Coex
ココロ
近藤科学
佐竹製作所
新エネルギー・産業技術総合開発機構
新興技術研究所
信和技研
セールス・オンデマンド
台湾知能自動化ロボット協会
大和ハウス工業
タカコ
つくば国際戦略総合特区
　※茨城県
　※つくば市
　※筑波大学
　※つくばグローバル・イノベーション推進機構
つくば・東葛・千葉ネットワーク
　※アドバンスト・ソフトマテリアルズ
　※ジェイエス・ロボティクス
　※Doog
　※ライフロボティクス
東京都立産業技術研究センター
東京理科大学
　※アサヒサンクリーン
　※菊池製作所
　※KOA
　※ユーピーアール
とやまロボット技術研究ネットワーク
　※オーギャ
　※小矢部精機
　※富山大学
　※日本抵抗器グループ（マイクロジェニックス）
　※不二越
　※北陸エンジニアプラスチック
　※ミヤモリ
　※ワコーテック
トヨタ自動車
ナノオプトニクス・エナジー
西日本高速道路エンジニアリング四国
日本ロボット学会
日刊工業新聞社 出版局
パワードスーツラボ 'POWDER'
マイクロテック・ラボラトリー
マクソンジャパン
三井造船
　※ヴェリシュミラーエンジニアリング
三菱重工業
リバスト
リョーエイ
　※コムビック
　※豊橋技術科学大学
ロボットサービスイニシアチブ
ロボット産業振興会議
　※ロジカルプロダクト
　※新日本非破壊検査
　※ロボスクエア
第5回ロボット大賞
　※パナソニック／松下記念病院
　※三次元メディア
　※三菱電機
　※グローリー／川田工業
　※千葉工業大学
　※キュー・アイ／東京農工大学
　※新日鐵住金／住友鋼管／日鉄住金プラント／安川電機
　※東京大学生産技術研究所 海中工学国際研究センター／海洋工学研究所／海上技術安全研究所
　※THK
　※鹿島建設／熊谷組
ロボットビジネス推進協議会
　※青梅商工会議所（ロボット産業活性化推進機構）
　※大谷技研
　※スキューズ
　※ゼットエムピー
　※ダブル技研
　※東京航空計器
　※東京都ロボット研究会／特殊電装／リンクサーキット
　※日本信号
　※ハイボット
　※船井電機
　※本田技術研究所 基礎技術研究センター
　※マイクロストーン

■ RT 交流プラザ

秋田県立大学　人工生体機構研究室
宇都宮大学　尾崎研究室
大阪大学大学院　新井研究室
金沢工業大学　中沢実研究室
岐阜大学　川崎・毛利研究室
埼玉大学　辻研究室
芝浦工業大学　ロボティクスコンソーシアム
首都大学東京　久保田研究室
中央大学　大隅・國井・中村研究室
電気通信大学　長井研究室
電気通信大学　下条・鈴木研究室
東海大学　小金澤・甲斐研究室
東京大学　石川・奥研究室
東京農工大学　遠山研究室
豊橋技術科学大学
　人間・ロボット共生リサーチセンター
奈良先端科学技術大学院大学
　ロボティクス研究室
新潟大学　メカトロニクス研究室
日本工業大学　創造システム工学科
明治大学　武野研究室
ものつくり大学　松本研究室
山梨大学　寺田研究室
立命館大学　李研究室
立命館大学　川村・河村研究室
立命館大学　ソフトロボティクス研究室
立命館大学　ヒューマノイドシステム研究室
早稲田大学　高西研究室
早稲田大学　可部研究室
早稲田大学大学院　松丸隆文研究室

□併催事業

※最新情報は随時更新します。詳しくは公式HPをご覧ください。

2013 国際ロボット展　特別講演

日時 11月6日(水) 13:30～14:30　定員 500名　無料

会場 東3ホール会場内メインステージ　主催:ロボットビジネス推進協議会

テーマ「喜びと楽しさが広がる未来へ ～ロボット技術に託す夢」

人々の生活を豊かにするロボット技術への挑戦について、Hondaの研究事例を交えて紹介します。

発表者
本田技術研究所　代表取締役社長
ロボットビジネス推進協議会　会長
山本 芳春 氏

ロボットサミット / Robot Summit 2013

日時 11月6日(水) 15:00～17:00　定員 1,000名　日英同時通訳あり　無料

会場 会議棟7F 国際会議場　主催:(一社)日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

テーマ「ものづくりにおけるロボット活用のフロンティアを探る」

産業用ロボットの用途拡大、海外展開等には多くの関係者が注目しており、今年は国内外から主要ユーザーを招き、ロボット活用の未来を探ります。

コーディネーター　ジャーナリスト・キャスター　三神 万里子 氏

メーカー代表

川崎重工業
執行役員 精密機械カンパニー ロボットビジネスセンター長
橋本 康彦 氏

不二越
ロボット事業部長
赤川 正寿 氏

ファナック
取締役 研究本部 ロボット研究所 所長
稲葉 清典 氏

安川電機
執行役員 ロボット事業部長
南 善勝 氏

ABB　スイス
シニアバイスプレジデント
パーベガード・ニース 氏

KUKA Roboter　ドイツ
最高経営責任者
マンフレッド・グンデル 氏

ユーザー代表

フォックスコン
Foxconn Technolgy Group
シニアバイスプレジデント
戴 家鵬 氏

日産自動車
グローバル工機管理部 部長
清水 圭 氏

NEDOロボットフォーラム

日時 11月6日(水)～7日(木)　定員 各500名　日英同時通訳あり　無料

会場 東3ホール会場内メインステージ　主催:(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

テーマ「スマートな社会を支えるロボット技術の最前線」

NEDOの研究開発プロジェクトをはじめとする各種の取り組みの成果についてご紹介するとともに、国内外の第一線で活躍する専門家から、世界の先駆的な開発動向をご紹介することによって、ロボットが将来の社会で目指すべき姿を3つのテーマに分けて講演します。

11月6日(水)　10:00～12:30　『スマートな「ものごとづくり」を担う産業用ロボットの新展開』

- ドイツ航空宇宙センター(DLR)　Alin Albu-Schaeffer 氏
- 三菱電機　野田 哲男 氏
- 立命館大学 ロボティクス学科 教授　川村 貞夫 氏
- NEDO 技術開発推進部 主任研究員　真野 敦史 氏

11月7日(木)　10:00～12:30　『日本から始まるサービスロボットの普及と安全認証ビジネス』　※こちらのプログラムは同時通訳はありません。

- NEDO 技術開発推進部 主査　菅原 淳 氏
- 日本自動車研究所 ロボットプロジェクト推進室　藤川 達夫 氏
- 日本品質保証機構 認証制度開発普及室　浅田 純男 氏、清水 雄一郎 氏

11月7日(木)　14:00～16:50　『レジリエントな社会を支えるフィールドロボットの将来性』

- NEDO 技術開発推進部 課長代理　川島 正 氏
- NIST　アメリカ　ロボティックリサーチエンジニア　アダム・ジャコフ 氏
- Groupe Intra　フランス　ゼネラルマネージャー　ミシェル・シュバリエ 氏
- KHG　ドイツ　オペレーションマネージャー　ミハエル・ガストマン 氏

介護ロボット導入加速化報告会　無料

日時 11月7日(木) 12:00～14:00　定員 120名
会場 東2ホール入口　ワークショップ会場A
主催:経済産業省、厚生労働省

ロボット介護機器開発・導入事業に関して、事例を通じて紹介します。

ロボットエンジニアリングセミナー　無料

日時 11月7日(木) 14:00～17:00　定員 120名
会場 東3ホール入口　ワークショップ会場B
主催:(一社)日本ロボット工業会

ロボットエンジニアリング業界活性化に向けた取り組みと、エンジニアリング事例等の紹介を行います。

iREX 2013 INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION

かながわロボットセミナー　無料

日時 11月8日(金) 10:00～12:30　定員 120名
会場 東2ホール入口　ワークショップ会場A
主催:神奈川県

自動運転・隊列走行に関する技術や神奈川発のロボット関連優良技術を紹介します。

産学連携国際ワークショップ　無料
―プランニング・プログラミング技術の最新世界動向と産業用ロボット応用―　日英同時通訳あり

日時 11月8日(金) 10:10～12:15　定員 200名
会場 東3ホール内　メインステージ
主催:(一社)日本ロボット学会、(一社)日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

産業用ロボットの「プランニング・プログラミング技術」について、産業応用の現状と最新動向の紹介を行います。

インターナショナルロボットハイスクール 2013　無料

日時 11月8日(金) 13:00～17:30　定員 300名
会場 東3ホール内　メインステージ
主催:(一社)日本ロボット学会

高校生が取り組む、各種ロボットコンテストの優秀者による発表を行います。

モノづくり電力有効活用セミナー　無料

日時 11月8日(金) 13:00～15:00　定員 120名
会場 会議棟6F　605会議室
主催:(一社)日本エレクトロヒートセンター、日刊工業新聞社

生産工程における電力活用化による省エネルギー、省コスト、省CO_2への取り組みを紹介します。

日韓サービスロボットワークショップ　無料

日時 11月8日(金) 14:00～17:00　定員 120名
会場 東3ホール入口　ワークショップ会場B
主催:(一社)日本ロボット工業会、韓国ロボット産業協会(KAR)

日韓のサービスロボットに係る対策やビジネス化事例について探ります。

SiC パワー半導体がもたらす産業機器のイノベーション　無料

日時 11月8日(金) 15:00～17:10　定員 250名
会場 会議棟6F　607、608会議室
主催:日刊工業新聞社

電気エネルギーの有効活用に果たすSiCパワー半導体の可能性を紹介します。

宇宙エレベーターロボットフォーラム　無料

日時 11月9日(土) 13:00～14:45　定員 120名
会場 東3ホール入口　ワークショップ会場B
主催:(一社)宇宙エレベーター協会、日刊工業新聞社

宇宙エレベーターの実現に向けて、最新の取り組みや技術の紹介を行います。

コミュニティ共創ロボティクス　無料
―当事者達に評価させるロボット化事業プロジェクト―

日時 11月9日(土) 13:00～17:00　定員 120名
会場 会議棟1F　102会議室
主催:(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)／千葉工業大学／東京工業高等専門学校

ロボット化サービスやロボット化システムの社会実装例、取り組みを取り上げ、将来に向けた課題を探ります。

ロボットビジネス推進協議会成果報告会　無料

日時 11月9日(土) 13:30～16:00　定員 120名
会場 東3ホール入口　ワークショップ会場A
主催:ロボットビジネス推進協議会

協議会における「生活支援ロボットプロジェクト対応」及び「復興支援とRT活用」の各WGで取り組んでいる活動報告を行います。

□ワークショップ

会場 東2ホール 入口 ワークショップ会場A　定員 各120名　無料

※最新情報は随時更新します。詳しくは公式HPをご覧ください。

日時		企業・団体名	発表内容	発表者名
11月6日(水)	10:30～11:30	CYBERDYNE	**ロボットスーツによる高齢社会の課題解決と新産業創出の同時解決** 高齢社会の課題と新産業創出というテーマを同時に解決する先進医療福祉機器開発の最前線について紹介します。	事業推進部 部長 久野 孝稔 氏
	13:10～14:10	セイコーエプソン	**産業領域における新たな挑戦 Epson Robotics Solutions** 独創の技術に支えられたエプソンロボットによる、お客様の自動化に貢献する新たな取り組みを解説します。	インダストリアルソリューションズ事業部長 平尾 英雄 氏
	14:30～15:30	KEBA Japan	**Magic HMIを用いたロボットティーチングとマシンオペレーション** 従来のロボットティーチングを一新する最新技術を用いた革新的ソリューションを紹介します。	HMIプロダクトマネジメント担当 クリスチャン・ヒュットナー 氏
	15:50～16:50	Aldebaran Robotics	**サービスロボットの社会的役割及び人間とロボットの対話について** 教育や自閉症の子供たちへの活用及び高齢者や人々の生活との関わり方に関する弊社取り組みについてご説明します。	調整中
11月7日(木)	10:30～11:30	安川電機	**新形溶接ロボット及び新形コントローラ** 新形溶接ロボットと新形コントローラDX200の機能・特長を紹介します。	ロボット事業部 ロボット技術部 産業用ロボット技術部 マニプレータ技術課 香川 隆太 氏 ロボット事業部 ロボット技術部 制御技術部 制御技術第1課 井上 光 氏
	14:30～15:30	不二越	**高速・高機能なロボットの開発取組みと適用** 溶接・搬送・組立等、各種分野における最新ロボット及び最新機能を紹介します。	ロボット事業部 開発部／部長 石田 勇一 氏
	15:50～16:50	ハーティング	**生産効率の向上を実現する産業用コネクタとEthernet接続ソリューション** 製造現場に求められる堅牢性、操作性と信頼性を備えたハーティングの接続製品とその導入事例をご紹介します。	プロダクト アプリケーション マネージャー 塩崎 徹 氏 プロダクト マーケティング スペシャリスト 稲葉 博久 氏
11月8日(金)	13:10～14:10	ダイヘン	**溶接総合機器メーカとしてのロボット開発への取り組み** 『誰でも簡単に高品質溶接を実現できる』をコンセプトとした最新のロボットアプリケーションを紹介します。	メカトロ事業部 技術部 部長 神品 泰宏 氏
	14:30～15:30	リンクス	**画像処理ライブラリHALCONによるロボットビジョンの革新** HALCONの多様な高性能2次元・3次元画像処理機能と、ロボットビジョンシステムへの適用事例を紹介します。	代表取締役 村上 慶 氏
	15:50～16:50	三次元メディア	**3次元ロボットビジョンの最前線** 3次元ロボットビジョンセンサTVSの実稼働事例、導入メリット、ユーザの声とともに次期製品を紹介します。	代表取締役社長 立命館大学 教授 徐 剛 氏

※発表内容は、予告なく変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

有料セミナー

定員 各120名　有料

※詳細とお申し込みは、ロボット展公式HPにてご案内します。

オールジャパン体制による生活支援ロボット市場の創造に向け
―大阪からの医療・介護ロボットの発信とアルボット社の事業戦略―

日時 11月8日(金) 11:00～13:00
会場 会議棟6F　610会議室　受講料 8,400円　主催:日刊工業新聞社

健康・予防医療サービスにおけるロボットの役割の他、アルボット社の事業戦略とオールジャパン・ロボット体制に向けた取り組みについて紹介します。

変種変量生産を可能とするロボットセルと将来展望
―わが国に高度なモノづくりを残すために―

日時 11月8日(金) 14:00～17:00
会場 会議棟6F　610会議室　受講料 16,800円　主催:日刊工業新聞社

ロボットセルの導入企業による開発の経緯から、それを支える要素技術、適用事例までを紹介し、ロボットセルの現状ならびに将来像をします。

□併催企画

● RT交流プラザ

会場 東3ホール

大学が有する優れたロボット及び関連技術の展示を行い、次世代ロボットの市場化に向けて交流を図ります。

RINGIRINGI プロジェクト　Auto Race
本事業は、オートレースの補助金を受けて実施するものです。

● 第5回ロボット大賞

会場 東3ホール　主催 経済産業省、(一社)日本機械工業連合会

「第5回ロボット大賞」の受賞ロボット等の展示を行い、優れたロボット・関連技術が一堂に揃います。

競輪振興
本事業は競輪の補助を受けて、実施しています

● マイクロマウス／ロボット体験コーナー

会場 東3ホール　企画協力 ニューテクノロジー振興財団、アールティ 他

日時 体験コーナー 11月6日(水)～9日(土) の4日間
実演公開予定 マイクロマウスクラシック、ロボトレース(4日間開催)
マイクロマウスハーフサイズ(最終日のみ)　※実演時間は会場でご確認ください。

数秒で複雑な迷路を駆け抜ける迷路解析ロボット「マイクロマウス」。
このコーナーでは、世界ランキング上位のエキスパートが作った手のひらに乗るほどの大きさに収まるロボットが複雑な迷路やラインを解析し、目にもとまらぬ速さで駆け抜けるすばらしい制御技術をご覧いただけます。
また、学習用マイクロマウス「Pi:Co Classic」を使って迷路作成ができる体験コーナーもご用意しています。
ぜひ高速移動ロボットの世界を体験してください。
※その他、ロボットに関わる体験コーナーを行います。詳細はロボット展公式HPをご覧ください!

東ホール同時開催展（相互入場可能）

- 2013部品供給装置展〈東2ホール〉……会期:11月6日～9日
- SAMPE JAPAN 先端材料技術展2013〈東6ホール〉……会期:11月6日～8日
- VACUUM2013 ― 真空展〈東6ホール〉……会期:11月6日～8日

ロボット展の入場証にて、上記展示会にもご入場できます。

西ホール同時開催展（相互入場可能）

- システムコントロールフェア2013〈西1・2ホール・アトリウム〉……会期:11月6日～8日
- 計測展2013〈西1・2ホール・アトリウム〉……会期:11月6日～8日

ロボット展の入場証にて、西ホールで同時開催の「システムコントロールフェア」「計測展」にも入場証のバーコードチェックを受けるだけで入場できます。

お問合せ　「2013国際ロボット展」事務局 日刊工業新聞社 業務局イベント事業部　〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1　TEL：03-5644-7221　FAX：03-5641-8321　E-mail：j-event@media.nikkan.co.jp　URL：http://www.nikkan.co.jp/eve/irex/